|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| タイトル | （和文）  ベトナムにおける産業集積効果と日本企業の立地決定要因分析  （英文）  An Analysis of Agglomeration Effects and the Determinants of the Location of Japanese Firms in Vietnam. | | | |
| テーマ名  （統一・分科の中から1つ選択） | |  | （フリガナ）氏名 | ハネダ　ショウ  羽田　　翔 |
| キーワード3語 | | 産業集積効果  日本企業の立地決定要因  ベトナム | 所属 | 日本大学大学院 |
| Ｅメール | soh04ak775@gmail.com |
| （和文要旨　40字×5行　200字以内）  本研究では空間経済学の理論を用いて、立地決定要因としての産業集積効果に重点をおいて研究を行った。2001〜2008年における日本企業からベトナムへの海外直接投資のデータを使用し、条件付ロジットモデルを採用した実証分析を行うことによりベトナムにおける日本企業の立地決定要因分析を行った。 | | | | |
| （和文報告概要　40字×40行　1,600字以内）    本研究の目的は、ベトナムにおける立地決定要因を明らかにすることであり、とくに産業集積効果に重点をおいて分析を行った。  直接投資を行うことによって生産拠点を海外に移転するとき、どの国、地域に立地するかは企業にとって重要な問題である。企業はそれぞれの地域の特性を考慮した上で立地する地域を決定する。その地域の特性が企業の活動に対して正の効果を与える場合、企業はその地域に立地し、逆に負の効果をもたらす場合は他の地域を選択する。実際に、ベトナムへの海外直接投資の地域分布をみてみると、省間で大きな格差が生じていることがわかった。この海外直接投資の省間格差を観察することによって、海外直接投資に影響を与えている要因を分析できるという点で、ベトナムへの海外直接投資は注目すべきテーマであると考え分析を行った。  **1,　先行研究**  日本銀行のサーベイや、三菱東京UFJ銀行（2010）では、多くの日本企業 は現地の潜在的な市場、相対的に安価な生産要素を求めてベトナムへ進出していると報告しているが、それらを証明する理論的、実証的な分析は不十分であると考える。また、多くの先行研究は、主にベトナムへの海外直接投資と経済成長、海外直接投資と貿易の関係についての分析を行っており、企業の立地決定要因を分析している研究は数少ない。  **2,　モデル**  　投資を行う企業は同質であると仮定し、企業はそれぞれの地域から合理的な立地選択を行う。それぞれの地域は異なる特性を有していることから、企業が選択した地域は利潤最大化に最も適した特性を有していると考えることができる。今回は地域の特性として、産業集積、産業集積効果、GDP、賃金、インフラストラクチャーを表す変数を使用して分析を行った。  　企業の立地決定要因分析に必要な理論として空間経済学の理論を使用した。今回は特に企業、需要者（労働者）の内生的な立地のメカニズムを集積の効果という観点から観察した。重要な点としては以下の2点がある。  （ⅰ）輸送費節約の観点から、企業はより大きい需要がある市場に立地しようとする。収穫逓増の仮定から、企業は個々の市場に複数の生産拠点を設けようとはしない。つまり、大きな市場とその市場へのアクセスを求めて 生産拠点の立地行う。Amiti, Javorcik(2008), Inui, Matsuura, Poncet(2008)ではこの市場の大きさと、市場へのアクセスの容易さをマーケットアクセス（Market Access）という言葉で表現しており、企業はこのマーケットアクセスを求めて立地を行うとしている。  （ⅱ）次に、企業を中間財の需要者と考えた場合、よりバラエティー豊富な中間財が生産されている地域に立地して生産を行う方が中間財に対する輸送費を節約できる。先行研究では財のバラエティーと、中間財の供給者へのアクセスの容易さをサプライヤーアクセス（Supplier Access）という言葉で表現しており、マーケットアクセスと同様に、企業の立地決定に関して重要な要因となっている。この2つを産業集積効果と考え分析を行った。  **3,　データ**  　企業の海外進出データ（2001～2008年）として、東洋経済新報社『海外進出企業総覧』 を使用し、ベトナムの省レベルデータは*Statistical Data, General Statistical Office of Vietnam*を使用した。  **4,　実証分析**  　以上のモデル、推計式を使用し条件付ロジット分析を行うことによって、どの地域特性が日本企業の立地選択の確率を高めるのか、即ち日本企業の立地決定要因に影響を与えているのかを分析した。  結果については当日に発表させていただく予定です。 | | | | |
| （予定討論者　第1希望）内諾（有、無）氏名　　　　　　　　Ｅメール | | | | |
| （予定討論者　第2希望）内諾（有、無）氏名　　　　　　　　Ｅメール | | | | |